北海道大学 広域複合災害研究センター
Center for Natural Hazards Research, Hokkaido University

広域複合災害研究センターは，令和６年度から文部科学省プロジェクト研究経費と寄附金のハイブリッドで運営され，社会連携やリカレント教育を強化し，新たな学問分野「広域複合災害減災学」の創出に向けた第二期の活動を開始しました。

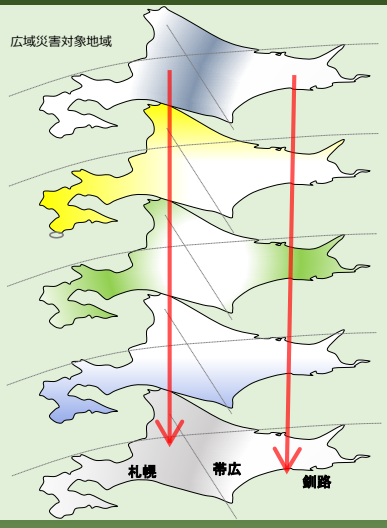
地球規模の気候変動と地盤変動の活発化によって，近年，北海道でも土砂災害や洪水，豪雪による自然災害が激増しています。特に北海道最大の脅威の一つである千島海溝・日本海溝沖の巨大地震では道内沿岸部を中心に甚大な被害が想定されています。

このような状況の中，現象論的な専門分野に偏ることなく，地域の特性と人間活動とを反映した災害予測・軽減対策を総合的に研究することが必要です。

●北海道大学広域複合災害研究センター（CNHR）の役割

山崩れ・地すべり研究 →
海岸域市町村の津波研究 →
斜面崩壊の研究
液状化・建物崩壊の研究 →
農作物・産業の洪水被害研究 →
吹雪・交通障害の研究 →

時系列
6月 豪雨ハザード
7月 津波ハザード
7月 地震ハザード
9月 台風ハザード
2月 豪雪ハザード



個別災害の見方　＝横軸視点
具体的な地域防災計画に使えない

＋

広域複合災害の見方　＝縦軸視点

↓

個別災害の発生の仕組みや
発生タイミングを追求

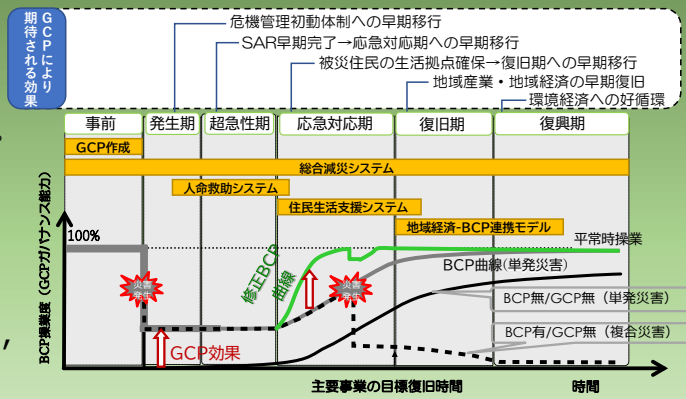
広域複合災害研究（縦軸の発想）では、個別災害のハザード（発生危険地域予測）を時系列で重ね合わせて，広域複合災害地域を想定します。これによって，例えば市町村レベルでの年間を通じた複合災害減災計画の作成が可能となります。

【活動の3つの柱】

1. 広域複合災害の事前(発生予測)～発生時(自治体ガバナンス計画GCP作成)～発生から復興(サポートプログラム開発)を一貫して対象とする**「研究開発」**
2. 大学院共通科目，防災関係研究者・技術者の人材育成，社会人へのリカレント教育などの**「防災教育」**
3. 地域住民などに対する平常時の防災知識の普及啓発，自治体との連携などの**「社会連携」**

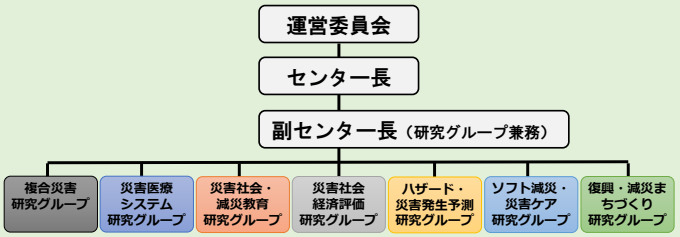
↓

新たな学問分野**「広域複合災害減災学」**の創出



※GCP （mutual protection Governance Continuity Plan）
自治体の災害対策組織統治機構を、災害発生直後から復興期に至るまで低下させることなく、世帯復旧並びに地域事業継続計画（BCP）との連携を計ることにより、地域住民並びに地域産業活動の早期復旧を目的とする計画策定

●CNHR組織体制・構成メンバー



広域複合災害減災研究を総合的に実行するために，災害マネジメントサイクル（発災前～災害発生～超急性期～応急対応期～復旧期～復興期）に合わせて7つの研究グループを編成

研究グループ	氏名	所属・役職	専門
複合災害研究グループ	山田 孝	農学研究院・特任教授	砂防学
	厚井 高志	副センター長 CNHR・特任准教授	広域複合災害減災学・砂防学
災害医療システム研究グループ	上田 佳代	医学研究院・教授	環境保健・疫学
	方波見謙一	北海道大学病院・助教	救急医学
災害社会・減災教育研究グループ	橋本 雄一	文学研究院・教授	人文地理学
	中嶋 唯貴	工学研究院・准教授	地震工学・建築情報学
	田中 岳	工学研究院・助教	水文学
災害社会経済評価研究グループ	川村 壮	CNHR・特任准教授	広域複合災害減災学・人文地理学・災害経済分析
ハザード・災害発生予測研究グループ	青山 裕	理学研究院・教授	火山学
	石川 達也	工学研究院・教授	地盤工学
	泉 典洋	工学研究院・教授	河川工学

研究グループ	氏名	所属・役職	専門
ハザード・災害発生予測研究グループ	稲津 將	理学研究院・教授	気象学
	笠井 美青	農学研究院・教授	砂防学
	山田 朋人	工学研究院・教授	水文学
	渡部 靖憲	工学研究院・教授	海岸工学
	高橋 翔	工学研究院・准教授	情報工学，交通工学
	桂 真也	農学研究院・助教	砂防学
	谷岡勇市郎	CNHR・学術研究員 （前 理学研究院教授）	地震学・津波学
復興・減災まちづくり研究グループ	佐々木貴信	センター長 農学研究院・教授	木質構造
	高橋 幸弘	理学研究院・教授	リモートセンシング・雷観測
	永田 晴紀	工学研究院・教授	宇宙推進工学
	南里 智之	CNHR・教授	広域複合災害減災学・砂防学
	渡部 要一	工学研究院・教授	地盤工学
	江丸 貴紀	工学研究院・准教授	ロボット工学・制御工学
―	佐野 寿聰	研究員 （アジア航測株式会社）	リモートセンシング・防災減災調査計画
	村上 泰啓	研究員 （北海道開発局）	リモートセンシング・地被環境解析
	原田 和子	CNHR・事務補助員	―

（2025年4月1日時点）

●広域複合災害アドバイザーグループの結団・被災地派遣

広域複合災害が起きた場合にはセンターでアドバイザーグループを結成し，**一元的に対応することが可能**です。アドバイザーグループの結団等の調整や対外的対応はセンターで実施します。行政部局に対して、**効果的かつ効率的な対応**を行っていきます。

― ―北海道大学広域複合災害研究センター概要― ― ― ― ― ― ―

- 北海道大学 学内共同施設（研究施設）
- 平成31年（2019年）4月1日設置
- 所在地・連絡先
  〒060-8589 北海道札幌市北区北９条西９丁目
  北海道大学農学部本館 N307, N372, N409
  Tel 011-706-2809 Fax 011-706-4695
  Email cnhr_unei@agr.hokudai.ac.jp
- ホームページ https://www.cnhr.info/
- アクセス
  JR札幌駅から徒歩13分
  札幌市営地下鉄「さっぽろ駅」から徒歩15分，「北12条駅」から徒歩11分
  ＜新千歳空港から札幌駅まで＞
  鉄道（JR北海道） 快速エアポート 所要時間：約37分
  バス 北海道中央バス・北都交通 所要時間：約70分

ホームページはこちら

★★最新の活動，イベント情報等は当センターホームページからCNHRニュースレターをご確認ください★★

当センターは寄附金によって運営されています。センターの活動にご賛同いただき，センターへの寄附にご興味をお持ちの方は，運営事務局（ cnhr_unei@agr.hokudai.ac.jp ）までご連絡ください。

HOKKAIDO UNIVERSITY